

## ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	べ と 病	灰 色 病	黒 星 病	う ど ん こ 病	菌 核 病	つ る 枯 病	軟 腐 細 菌 病	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	フ キ ノ メ イ ガ	オ オ タ バ コ ガ	ネ コ ブ セ ン チ ュ ウ
ハッパ乳	NC		-	-				◎										
マスタピース水	NC		1	-							◎							
Zボルドー水	M1		-	-							◎							
トップジンM水㊟	1		1	3				◎										
ベンレート水㊟	1		1	3					◎	◎								
アフエツFL	7		1	3				◎										
パレード20FL	7		1	3				◎										
アミスター20FL	11		1	4				◎										
ストロビーFL	11		1	3				◎										
ランマンFL	21		1	4	◎													
ロブラール水	2		1	4		◎												
サンヨール乳	M1		1	4				◎										
ヨネボン乳	M1		1	4	◎													
ダコニール1000FL	M5		1	3				◎										
ダコニールアルファ顆 水	M5		1	3		◎	◎	◎										
ゲッター水㊟	1・10		7	3		◎												
パンチョT F 顆水	3・U6		1	2				◎										
パレードプラスFL	7・M5				◎	◎		◎	◎									
スピノエース顆水	5		1	3										◎				
ネマトリンエース粒	1B		*b	1														◎
アディオン乳	3A		7	3							◎					◎		
アルバリン顆溶																		
スタークル顆溶	4A		1	2							◎							
アルバリン粒	4A		*a	1							◎	◎						
スタークル粒			*c	1							◎							
ベストガード粒	4A		*a	1										◎				
アフアーム乳	6		3	2														◎
チェス顆水	9B		1	2							◎							
コルト顆水	9B		1	3							◎	◎						
カスケード乳	15		1	4											ト			
モベントFL	23		1	3							◎	◎						
プレバゾンFL 5	28		1	3											◎			
セコンドDF	29		1	2							◎							
ウララD F	29		1	2							◎							

㊟:チオファネートメチル含有剤 ㊤:ベノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での㊧は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。

\*a:定植時 \*b:定植前 \*c:生育期(但し収穫開始14日前まで)

ト:トマトハモグリバエ

## ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ドイツボルドーA(水)* 500～1000倍 Zボルドー(水)* 500倍	*野菜類での登録。薬害回避のため試し掛けする。
うどんこ病	生育期	・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 イオウフロアブル* 500～1000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 トップジンM水和剤● 1500倍 パンチョT F 顆粒水和剤● 4000倍	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 *野菜類での登録。薬害回避のため試し掛けする。
モザイク病		・アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。	
アブラムシ類	定植時	・次の薬剤のいずれかを植穴に土壌混和する。 アルバリン粒剤 2g/株 スタークル粒剤 2g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍	
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 モベントフロアブル 2000倍	
アザミウマ類	定植時	・次の薬剤を植穴に土壌混和する。 ベストガード粒剤 1～2g/株	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000～10000倍	
フキノメイガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍	
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アフーム乳剤 2000倍	
ネコブセンチュウ	定植前	・次の薬剤を全面施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10a	